

学校の様子(3/21～3/24)

3/24(金)修了式

本日、今年度最後の行事となる修了式を行いました。最初に、修了証授与を行いました。1～5年生各学年の代表児童に修了証を渡しました。その後、校長から下のような話をしました。子どもたちは、1年の締めくくりにふさわしい態度で話を聞いていました。

式の終了後、来年度前期の児童会役員の任命式を行いました。そして、来年度、青年海外協力隊で本校を去る西田教諭から離任のあいさつがありました。西田教諭は、アフリカのエチオピアに赴任する予定です。



平成28年度3学期修了式講話

16日の卒業式では、5年生が在校生を代表して参加しました。とても立派で、6年生からバトンを受け取ることができたのではないかと思います。

さて、皆さん、今日は修了式です。1学期も2学期も、長い休みに入る前は、「終業式」という式を行いました。ところが、3学期は「終業式」ではなくて「修了式」と言います。では、「修了式」の「修了」という言葉には、どんな意味があるかということ、「その学年にふさわしい学力と体力と心を身に付けました」という意味があります。ですから、この後、担任の先生からいただく「修了証」は、次の学年に進むために、絶対必要なパスポートみたいなものです。大切にしてください。

3学期の目標は3つありました。「チェンジ」「チャレンジ」「コミュニケーション」でした。この目標と今年一年の3つの目標を振り返ってみたいと思います。皆さんはどうでしたか？

「チェンジ」「チャレンジ」「コミュニケーション」について、できた人？

「元気よくあいさつしよう」について、できた人？

「友達と仲よくしよう」について、できた人？

「命を大切にしよう」について、できた人？

それについて、「どうしてできたのか？」「どうしてできなかったのか？」を自分で説明できる人？大切なことは、今の自分がどうなのか、そして、これからどうしたらよいかわかることです。わかっている人は、次に進むことができます。わかっている人は同じことを繰り返したり、元に戻ったりしてまいります。しっかりと自分のことを振り返り、次の学年でどんなことをがんばりたいかを考えておいてください。

一つ、皆さんにやってほしいことがあります。それは、「ありがとう」という言葉を、家族や周りの人々、お世話になった方々みんなに伝えてください。言葉でも、手紙でもどちらでも構いません。人だけでなく、教科書、ノート、靴などにも感謝をしましょう。感謝の気持ちは、次の目標に向かう力になるからです。

では、今度会うときは、一つ上の学年にふさわしい姿で会いましょう。